



次世代北信がんプロ オンコロジーセミナー

大学院生・がん診療連携拠点病院
地域がん診療推進病院等の
医師・薬剤師・看護師・診療放射線技師
臨床検査技師など医療スタッフの皆さま

第 10 回

Next generation Hokushin cancer professional

Oncology Seminar

講 演

ミスマッチ修復機能欠損を合併し、 Pembrolizumabが奏効した稀な腭腫瘍の1例

腭癌は極めて予後不良な癌腫であり、2023年の死亡数は40,000人を超え、胃癌を抜いて第3位となった。ミスマッチ修復機能欠損 (dMMR) は癌腫横断的に認められ、免疫チェックポイント阻害薬であるPembrolizumabが奏効するが、腭癌におけるdMMRの陽性率は1%程度に過ぎない。今回dMMRを高頻度に合併する稀な組織型の腭腫瘍を経験したため、各種遺伝子解析の結果を含めて報告したい。

開 催 日 時

2025. **5.21** 水
18:00-19:30

(ZOOMによるオンライン開催)

金 沢 大 学 附 属 病 院 腫 瘍 内 科

講師 **大坪 公士郎** 先生

参加希望者は**5月20日 (火)** までに
下記のURLまたはQRコードから
お申込ください。

特 別 講 演

がん治療薬のFirst-in-Human開発研究 ～核酸創薬の最前線～

近年、抗がん低分子化合物や抗体医薬に続く第3の医薬として、標的分子の遺伝子情報を基に設計可能な核酸医薬が注目されています。しかし、その実用化には、標的に対する十分な薬効の確保、オフターゲット効果の回避、病変部位への効率的な送達といった課題の克服が不可欠です。本セミナーでは、抗がん核酸創薬の基本概念とともに、具体的な応用例として乳がん幹細胞関連因子PRDM14を標的としたsiRNA医薬の開発について解説します。

【参加申込フォーム】



金 沢 大 学 が ん 進 展 制 御 研 究 所
先 端 が ん 治 療 研 究 分 野

教授 **谷口 博昭** 先生



問 い 合 わ せ 先

次世代北信がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1
TEL : 076 (265) 2886
E-mail : gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
HP : <https://gan-pro.net>